

学びや

ヨウムスウィツプ

1928(昭和3)年、昭和天皇即位の礼が京都御所で行われ、「御大典」の奉祝ムードが京都市中を包んでいました。記念事業が各所で行われるな

か、学校には、図書館の設立や育英資金の造成、校舎の改築や設備の改善などが御大典記念として府や市から望まれました。

それに対し、各学校で

は児童文庫を設置したり、校舎の増改築、運動場の拡張や奉安殿の設置

学区あげ改築や作品制作

などをしたりしたこと、が、京都市編「京都市大書に強い鉄筋校舎の重要奉祝誌」1930年、京都市役所に記録されています。

また、1915(大正

4)年の大正天皇即位の雪は浄土寺石橋町に、池泉回遊式庭園を備えた白沙村荘という邸宅を構えていました(現在は白沙村荘橋本関雪記念館として公開。学区をあげての作品制作だったので

校舎が完成しました(写真①)。この時期に市内39人の書家や画家が寄り

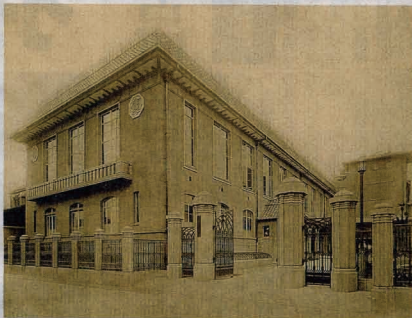
京都にとって一大イベントであった御大典。校舎や美術品から、当時の人々の喜びふりが伝わって

真①)。この時期に市内39人の書家や画家が寄り、その中には、橋本関雪や石崎光瑠など近代京

雪や石崎光瑠など近代京

この後、1934(昭和9)年に超大型の室戸台風が京都を襲ったときは、新しくできた校舎

都画壇を代表する画家(京都市歴史博物館 学は悠久の山水を、光瑠は菊花を描いており、いの予定です。



写真①、1931年に新築された明倫小の校舎

(京都市中京区)



②写真②、橋本関雪「舊江山之図」③写真③、石崎光瑠「菊花図」(ともに1915年、錦林小蔵)